

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	西口 直輝 (にしぐちなおき)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	修士課程・1年
発表年月 または事業開催年月	2026 年 5 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第80回日本栄養・食糧学会大会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	西口直輝、鹿島愛理、新藤乃彩、丸亀裕貴、矢野敏史、大江健一、卯川裕一、原太一
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	腸管細胞のオートファジー制御におけるウロリチン A の細胞内感知機構の解析
<p>発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)</p> <p>近年、高齢化の進行が深刻化する中で、食の観点から健康寿命の延伸にアプローチする研究が注目されている。ざくろやナッツに含まれるウロリチン A は、これまでに抗酸化作用や抗炎症作用、オートファジー活性化作用を有することが示されており、機能性食品として注目されている。しかし、ウロリチン A が細胞に感知される機構やオートファジー活性化に至る分子メカニズム、腸管上皮細胞における作用は未解明である。本研究では、リソソーム特性変化に着目し、オートファジー制御メカニズム及び腸管バリア機能への影響を解析した。</p> <p>本学会大会において、ウロリチン A によるオートファジー制御メカニズムに関して発表を行った。ウロリチン A による健康増進、ひいては治療を通じた健康寿命延伸の科学的基盤の構築に貢献したと考えている。</p>	

※無断転載禁止